

研修名 食育・アレルギー対応

平成29年12月8日(金) 13:30~16:00

講演 「食物アレルギーの基礎と緊急時の対応」

講師 中津病院 末廣 豊 氏

## 1 講演要旨

### 1) 食物アレルギーの基礎と緊急時の対応

アレルギーは増えている

感染症の劇減、細菌の変化、ビタミンD不足、生活の西欧化・食生活の変化、  
湿疹の増加、アレルゲンの増加、メンタルストレスの増加など。

### 2) 食物アレルギー

#### ①食物アレルギーの定義

食物によって引き起こされる抗原特異的な免疫学的機序を介して生体にとって不利益な症状が起きる現象。

#### ②食物アレルギーの特徴

1. 増えてきている 2. 皮膚から感作が起こる 3. なおせる 4. 全身の症状が出ることもある

#### ③症状

1. 即時型反応…食べて2時間以内、じんましんが出る。
2. 遅発型反応…食べて2時間以降、湿疹が出る。

#### ④食物アレルギーと間違いやすい疾患

1. 食中毒 2. 食物不耐症 3. 仮性アレルゲン

#### ⑤食物アレルギーでみられる症状

皮膚(かゆみ、赤み、蕁麻疹、腫れる)

目(充血、浮腫、かゆみ、なみだ)

鼻(くしゃみ、はなみず、はなづまり)

口・粘膜(違和感、腫れる、かゆみ、いがいが感)

呼吸器(喉の締めつけ感、喉が腫れる、声がかすれる、咳、喘鳴、息苦しい)

消化器(腹痛、嘔吐、下痢)

全身(ショック、血圧が下がる、ぐったり、ぼーっとする)

### 3) アドレナリン自己注射薬（エピペン）について

#### ①エピペン使用にあたって前もってしとくこと

リストアップ、アナフィラキシーを起こす可能性のある子ども、アレルゲン、搬送先

#### ②エピペンを打つ前に知っておくこと

食物アレルギーについて…症状やアナフィラキシーのグレード  
エピペンがどのような薬か。

#### ③現場では

食物アレルギーの症状か

アレルゲンを含む食品を食べたか、どういう症状があるか？

アナフィラキシーか、エピペンが必要か。

#### ④手順

寝かせる、押さえる→エピペンを取り出す、利き手でグー握り→安全キャップを確実に抜く→打つ場所を特定→大腿外部に垂直に5秒間押し付ける  
→ゆっくりと抜き、揉んでおく→ストレッチャーに乗せて救急車で搬送→  
救急診療所では真っ先に診てもらう。

#### ⑤現状

誤注射の報告が増えている

使用時…指先に注射、固定が甘く斜めに注射し大腿部を損傷

管理…子ども本人または兄弟が誤発射

## 2 感想

実際にエピペンの方法を見せて頂いたりまたその効果なども詳しく教えて頂きより理解が深まりました。じっさいに園にはエピペンを保育所に持ってきている子どもはいませんがアレルギーの子は何名もいます。その子達ひとりひとり状況や症状も違うので今回の研修を通して各クラスそして園全体での理解をさらに深めていきたいと思いました。少し専門的な内容の部分もあり難しく感じるところもありましたが今後役に立てていければと思います

（記録 三山木保育所 宮田奈緒）